

三鷹市立第五中学校 令和5年度【社会】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	<p>【成果】 ○複数の資料を題材とした読み取り作業の授業を多く設定することができた。 ◎選択した情報を適切に読み取り、その内容をまとめたり表現したりする活動を取り入れることができた。</p> <p>【課題】 ○複数の資料を題材とした読み取り方の指導 ○個人考察の時間の確保</p>	<p>【現状】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断できる生徒が少ない。 ○読み取った情報を、個人で考察することが苦手な生徒が多い。 ○「ねらい・ゴール」から逸れたまとめをする生徒がいる。</p> <p>【課題】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断すること。 ◎読み取った情報を、個人で考察してまとめたり表現したりすること（「学びのスタンダード」学習習慣2、3）。 ○「ねらい・ゴール」に正対したまとめをすること。</p>	<p>【課題】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断するための、生徒の気づきを促す発問や助言。 ○読み取った情報を、個人で考察してまとめたり表現したりする時間の確保。 ○まとめの基本的な書き方の周知。</p> <p>【授業改善策】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断するための発問や助言の工夫。 ・全体の生徒の様子を観察→判断ができていない生徒から全体への助言→教員または課題が終わった生徒による個別の指導等、適切なタイミングで発問や助言を行う。 ◎個人での考察や作業の時間を多く設定する。 ・個人で考察する時間を長く設定することで、その後のグループや全体での意見共有を活発かつスムーズに展開する。 ○まとめの記入の仕方や、良い事例を紹介するなど、具体的に提示する。</p>
第2学年	<p>【成果】 ○複数の資料を題材とした読み取り作業の授業を多く設定することができた。 ◎選択した情報を適切に読み取り、その内容をまとめたり表現したりする活動を取り入れることができた。</p> <p>【課題】 ○複数の資料を題材とした読み取り方の指導 ○個人考察の時間の確保</p>	<p>【現状】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断できる生徒が少ない。 ○読み取った情報を、個人で考察することが苦手な生徒が多い。</p> <p>【課題】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断すること。 ◎読み取った情報を、個人で考察してまとめたり表現したりすること。（「学びのスタンダード」学習習慣2、3）</p>	<p>【課題】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断するための、生徒の気づきを促す発問や助言。 ○読み取った情報を、個人で考察してまとめたり表現したりする時間の確保。</p> <p>【授業改善策】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断するための発問や助言の工夫。 ・全体の生徒の様子を観察→判断ができていない生徒から全体への助言→教員または課題が終わった生徒による個別の指導等、適切なタイミングで発問や助言を行う。 ◎個人での考察や作業の時間を多く設定する。 ・個人で考察する時間を長く設定することで、その後のグループや全体での意見共有を活発かつスムーズに展開する。</p>
第3学年	<p>【成果】 ○複数の資料を題材とした読み取り作業の授業を多く設定することができた。 ◎選択した情報を適切に読み取り、その内容をまとめたり表現したりする活動を取り入れることができた。</p> <p>【課題】 ○複数の資料を題材とした読み取り方の指導 ○個人考察の時間の確保</p>	<p>【現状】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断できる生徒が少ない。 ○読み取った情報を、個人で考察することが苦手な生徒が多い。 ○既習の知識を関連付けて覚えていない。</p> <p>【課題】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断すること。 ◎読み取った情報を、個人で考察してまとめたり表現したりすること（「学びのスタンダード」学習習慣2、3）。 ○既習の知識と新出の知識を、関連付けること。</p>	<p>【課題】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断するための、生徒の気づきを促す発問や助言。 ○読み取った情報を、個人で考察してまとめたり表現したりする時間の確保。 ○既習の知識を関連付ける場面設定。</p> <p>【授業改善策】 ○複数の資料を比較するのか、関連付けるのかを判断するための発問や助言の工夫。 ・全体の生徒の様子を観察→判断ができていない生徒から全体への助言→教員による個別の指導等、適切なタイミングで発問や助言を行う。 ◎個人での考察や作業の時間を多く設定する。 ・個人で考察する時間を長く設定することで、その後のグループや全体での意見共有を活発かつスムーズに展開する。 ○小中一貫カリキュラム等で知識の構造や階層を確認し、イメージマップ等を導入する。</p>